

令和3（2021）年度第3回栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会  
議事概要

- 1 開催日時 令和4（2022）年1月25日（火）10:00～10:45
- 2 会議形式 オンラインによるWeb会議（県庁本館9階会議室3）
- 3 出席者 委員：9人、オブザーバー：4人（うち代理1人）

4 議 事

○ 壬生町における実証実験の実施概要について

資料に基づき、事務局が壬生町における実証実験の実施概要について説明し、委員から今後準備を進める上での留意点等について意見を頂いた。

《委員からの主な意見等》

- ・ 実証実験においては、実験車両が全ての停留所で停車、発進した方が、渋滞や一般車等との混在環境下での車両の状況確認が出来るので望ましいと考える。今回の実験では、全ての停留所で停車する予定か。【委員】  
→ その予定である。【事務局】
- ・ 今回の運行ルートにおいて、公園内は歩車分離が難しく、芝生で遊んでいる子供等が飛び出してくることが想定される。今回の実験車両の速度は、既に公園内を走行しているわんぱくトレインと比較すると、どの程度となるのか。【委員】  
→ わんぱくトレインと同程度の時速約10km程度である。【事務局】
- ・ 今回の実験車両は、茨城県の境町等、各地での走行実績がある。それらの実績において発生した事象を把握しておく、今回の実験もスムーズな実施が可能となると思う。特に、当該車両はハンドルが無く、コントローラーで操作するため、ドライバーが急な飛び出し等に対応できるよう、安全対策に留意する必要がある。【委員】
- ・ 運行ルートについて、公道以外に公園、駐車場等、不特定多数の人が通行する場所であるため、事故防止に努めて欲しい。【オブザーバー】  
→ 各地でのこれまでの走行実績等を踏まえ、安全対策にしっかりと取り組み実験を実施する。【事務局】
- ・ 実験車両のラッピングが、イチゴのデザインで統一されており、Web等で見たときに、一目でこのプロジェクトの実験車両と分かるので、良いと思う。【委員】

- 道の駅みぶは、みぶハイウェイパークやわんぱく公園等が一体となった、町内で最もにぎわう観光施設である。来年度には町内で大型商業施設の開業が予定されており、道の駅の利用率もさらに高まることが想定されている。一方で、各施設の連携を進め、各施設の魅力創出につなげることを課題と考えている。実証実験の結果を参考に、道の駅みぶにおける利用環境の充実及び各施設の連携強化に向けた取組について検討するとともに、町の将来の交通体系の中の一つの交通手段として、自動運転バスの導入を検討していけたらよいと考えている。【壬生町】